

事業所名

多機能型児童発達支援 賀川記念館くじらぐも

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026年

2月

20日

法人（事業所）理念		わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす わたしたちは、平和をつくりだす					
支援方針		一人ひとりが自分のペースを大切にしながら安心して活動できる居場所を提供していく。それぞれの個性を尊重し、互いの個性を受け入れ認め合うことで、自己肯定感や自尊心を育てる。少人数の集団の中で生活基本的スキルやコミュニケーションの力、社会性などを身につけていき、将来の姿を思い描き支援が出来るようにする。また、地域の中のひとりとして地域のイベントに参加し、人々と交流することで社会とつながっていきけるようにしていく。					
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
本人支援	健康・生活	当日の活動の流れに沿って、時間を意識しながら行動することで生活リズムを作り、基本的な生活スキルを身につけていく。 スケジュール管理や身辺整理など、日常生活を送るために必要なスキルを獲得できるようにしていく。 子どもたちの当日の食事（おやつ）、排泄等の様子を観察し、健康管理と必要な対応をしていく。					
	運動・感覚	公園遊び等（鬼ごっこやボール遊び等）で体力をつけ、運動能力の向上や感覚の発達につなげていく。 クッキングやものづくりを通し、五感を刺激したり、指先を器用に使えるようにしていく。 カードゲームやボードゲーム等の遊びを通して、視覚、聴覚、触覚を育てていく。 感覚過敏な子どもにも配慮した環境設定をしていき、それぞれの子どもの感覚や特性に合わせた取り組みをしていく。					
	認知・行動	感覚や認知の偏りなどの個々の特性に配慮しながら、TPOに合った適切な行動の習得をする。 当日のスケジュールを確認し、見通しを立てることによって自主的に行動できるようにしていく。 カリキュラムを設けていない自由時間には、自分で遊びを見つけ、その遊びを通して友達ともかかわっていきけるよう支援していく。 活動中の行動の切り替えの時は時計やタイマーで時間認識を持てるようにし、次の行動にスムーズに移れるようにする。					
	言語・コミュニケーション	周りの人とかかわる中で自分の思いを言葉にして伝えたり、相手の話を聞くなどのやり取りがスムーズにできるようスタッフが間に入り支援していき、「できた!」という体験を積んでいきけるようにする。 日常の会話の中で、その時々に応じた言葉や言葉の使い方の見本を示すなどのサポートをし、コミュニケーションの力を身につけていく。					
	人間関係・社会性	周囲の人と信頼関係を築き、安心・安定した関係を作っていけるようにする。 様々な学年の子どもとかかわり、お互いの意見の違いを認めながら、人と協力することを学んでいく。 集団活動を通して、社会（学校や地域）に参加するためのルールや手順を理解し、社会性を身につけていく。					
家族支援		保護者と様々な連絡ツールを使い、情報共有し支援内容の確認をしていく。 必要に応じて面談や電話で、ご家族の不安や心配ごとへの相談援助を行う。			移行支援		保護者や各関係機関と情報交換や担当者会議を行うことなどで、包括的な支援を行えるよう環境づくりをしていく。
地域支援・地域連携		各関係機関（学校・児童館・医療・福祉施設や事業所・地域団体等）と情報共有・連携していき支援目標の統一を図り、子どもが安定して目標達成に取り組めるようにする。 地域の学童保育との併用利用ではミーティングでの情報共有・連携をしていく。			職員の質の向上		毎月のミーティングでの情報共有や課題整理を行い、共通認識を持つ。 定期的な研修へ参加し、知識やスキルの向上を図る。
主な行事等		誕生会・クリスマス会・避難訓練・クッキング・工作・遠足・記念館マルシェ・登山・BBQ					